

平成23年度 第1回企画運営委員会(H23年10月)【事前評価】

	研究課題名	評価項目	点数	コメント
1	県民参加型の点検と助言による施設改善に関する研究	必要性	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例を効果的に運用するための研究として必要性が高い。</li> <li>・制度運用の実効性を担保する、時宜を得た研究で。</li> <li>・広く施設整備者や県民の啓発につながることを望まれる。</li> <li>・アドバイザーの育成・点検ツールが、施設整備者にとって、改修に真剣に取り組む方向となることが望まれる。</li> </ul>
		有効性	5	
		効率性	4.8	
		代替性	4.8	
		計	19.4	
2	高齢者の居住安定化にむけたコミュニティデザインに関する研究	必要性	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の在宅高齢者増加に対応できる可能性が高い。</li> <li>・高齢者の自立した地域生活の支援に有効である。</li> <li>・聞き取り調査に際して、啓発も行っていくこと。</li> <li>・研究成果をどのように役立てていくかについての検討が必要。</li> <li>・地域の様々な場所で展開できる工夫が必要。</li> </ul>
		有効性	4.8	
		効率性	4.7	
		代替性	4.8	
		計	19.3	
3	ICT機器を活用した知的障害児、発達障害児のコミュニケーション支援に関する研究	必要性	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後必要とされる分野であり、使用者の範囲も拡大していく可能性がある。</li> <li>・障害児の社会参加促進と周囲の理解促進に有効である。</li> <li>・地域住民を巻き込んだ、地域での実証実験に期待する。</li> <li>・開発したアプリケーションは広く発信していくべき。</li> <li>・社会生活を円滑に行えるツールとして活用されることが望まれる。</li> </ul>
		有効性	4.8	
		効率性	4.5	
		代替性	4.7	
		計	19	
4	無線式身体動作計測評価システムに関する研究	必要性	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義な研究課題で医学分野との連携が望まれる。</li> <li>・他機関との連携も検討すること。</li> <li>・臨床現場で使えるよう、製品化に期待する。</li> <li>・安価で、臨床の時間内に短時間で使用できることを前提に開発すること。</li> </ul>
		有効性	5	
		効率性	4.8	
		代替性	4.6	
		計	19.4	
5	転倒・転落リスク評価指標に関する研究	必要性	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場が待ち望んでいる内容であり成果が期待される。</li> <li>・他機関との連携も検討すること。</li> <li>・成果をより広く広報していく方策も検討のこと。</li> <li>・先行文献との関連性も検証のこと。</li> </ul>
		有効性	4.7	
		効率性	4.3	
		代替性	4.5	
		計	18.3	
6	筋電義手練習支援システムに関する研究 ポータブル型練習補助デバイスの開発	必要性	4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床のニーズに即した意味のある研究である</li> <li>・他機関との連携も検討すること。</li> <li>・成果の一般化、製品化を目標とすること。</li> <li>・安定性、安全性等についても記載すること。</li> </ul>
		有効性	4.7	
		効率性	4.5	
		代替性	4.7	
		計	18.6	
7	高齢者・障害者の個別ニーズに対応した福祉用具等の開発	必要性	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具の個別対応は高いニーズがあるができるところが少ないのが現状であり、意義深い。</li> <li>・当事者の視点での改良・開発が可能となる。</li> <li>・福祉のまちづくり研究所からの情報発信に期待する。</li> </ul>
		有効性	4.8	
		効率性	4.7	
		代替性	4.8	
		計	19.3	
8	盲ろう者の自立生活支援のためのインターフェースと支援機器に関する研究	必要性	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盲ろう者に対する支援を拡大強化する必要があり、意義深い研究課題である。</li> <li>・メーカーとの連携も検討すること。</li> <li>・当事者の声を聴き、有用な機器開発と情報発信に取り組むこと。</li> <li>・生活で自立するための機器の開発につながることを期待する。</li> </ul>
		有効性	4.8	
		効率性	4.4	
		代替性	4.6	
		計	18.8	

点数:各評価項目を5点満点で採点(各委員の平均点数)。